
自分を信じるということ

望月愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自分を信じるということ

【コード】

N3029B

【作者名】

望月愛

【あらすじ】

詩です。短いものを3つほど載せました。自信の大切さを書いたつもりです。

(前書き)

詩です。

『自信』

自分を信じるって難しいよね

常に不安で、周りが正しく思えて

でも

信じれない自分が信じてる人やモノって、スゴく不確かなものだと思う

まるで地獄に一本だけ垂らされた蜘蛛の糸のように

それに寄りすぎるのは危ないよ

つまり

自分を信じてないのに、他の人を信じるなんて出来ないんだよ

ちよっとずつで良いから

自分を信じれるようになりたい

『神様』

今私がこうやって生きていること

起きて、ご飯をたべて、っていう私の人生は

全て神様が決めているんじゃないかな？って思った。

いつ生まれて、いつ死ぬか

どんな仕事に就くか、どんな人を好きになるか

頭を掻くとか欠伸をするとか、そんな細かい事までも

もしかしたら神様が操ってるんじゃないか？って思ったんだ。

もしも、もしもそうだったら

神様が思いつきもしないような事をしたい

本当に神様が操ってるとしても

これは、自分で決めたんだって自信を持って言える

そんな人生を歩んで行きたいんだ

誰の為でもない

自分の為の人生なんだから

『道』

人は毎日毎日

何本もの分かれ道を選らんで進んで行くんだ

時にはどの道へ進もうか迷う事もある。

でも、

正しい道なんて無いんだ。

正しい道は自分の歩んで行こうとおもつ道だから

もしかしたら、いきなり道が消える事があるかも知れない。

しかし、そこで諦めてはいけない

自分で道を作るのだ

素晴らしい景色を見る為に

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3029b/>

自分を信じるということ

2011年1月9日00時28分発行